

【サポート Douse の体験談】

私は現在、由井先生の相談会を受けさせていただいています。小さい頃から両親との関係が上手くいかず、悩んできました。その中で、由井先生から逆転親子であることを教えていただきました。物心ついたときには、すでに母は私のことよりも自分や弟、父のことばかりに一所懸命だったように思います。具合が悪いときや、私がいつも学校でいじめられていても、思うように助けてもらえませんでした。「どうしてなのだろう？弟にはあんなに優しいのに。私にはどうして優しくしてくれないの？」いつも、そう思っていました。

そんな日々を過ごしていた私は、いつしか心が目の前の人に対して反応しなくなっていくのを感じるようになりました。「どうせ私なんて優しくなんかしてもらえない。どうせ私は、何をやっても受け入れてもらえない。どうせ私なんか、いつも一人だから。」自然と、そう思うようになっていきました。

そしてそれは、社会人になってからも続き、職場でもいつも人間関係に悩んできました。人の輪の中に入れられないからです。「入ってこないでよ」と相手の人から言われたわけではないのに、私自身が心の中で勝手に、私はあの人たちの中には入れないからと決めつけてしまう癖ができていました。そのため、いつも人の輪の中に入っていけず、毎日が孤独でした。

けれど、由井先生が処方して下さったサポート Douse を摂らせていただいたことで、私の「どうせ〇〇だから、、、」という考え方が一つずつ外れていきました。「この言葉に私は、どれくらい今まで縛りつけられてきたのだろう」。昔を振り返ってみると、すべてがそうだったように思えてきました。どうせ私は仲間はずれにされるのだから。どうせ私は受け入れてもらえないのだからと思えば思うほど、自分の事を自己卑下し、自己卑下した分だけ、プライドもどんどん高くなっていきました。私は、由井先生の相談会を受けさせていただく中で、由井先生から自己卑下がすごいこと、プライドが高すぎることを教えていただきました。今ようやく、私は今までの人生の中で自分自身が身につけてきた鎧を、由井先生の相談会を受けさせていただく中で、一つずつ剥がしていただいています。

そこで今回は、サポート Douse を摂ったことで、「どうせ私はいつも仲間外れだから」と思っていた私が「私も一緒に誘ってくれれば良かったのに！！」と、ある日突然、子どものママ友から声をかけられ、呆気にとられてしまった体験談についてお話したいと思います。

私は、小学校三年生のときから教室ではいつもひとりぼっちで、友達の中に入りたくとも、来ないでと言われ、いつも仲間はずれにされていました。一番思い出に残っているのは、小学校六年生の修学旅行のグループ決めの時のことです。私は勇気を出して「〇〇ちゃ

と同じグループに入りたい」と言ったのですが、ダメって言われました。そのときの私は、もう立ち直れませんでした。「あんなに勇気を出して、〇〇ちゃんに言ったのに、断られちゃった。どうしよう、、、」私は目の前が真っ暗になり、涙が流れてきました。

私は、このときの体験を、サポート Douse を摂ったことですぐに思い出しました。あの小学校六年生の時のインチャが、私自身の心の中に再び現れてきたのです。〇〇ちゃんにダメっとみんなの前で拒絶されたときの事です。そして私は、心の中で当時の小学校六年生だった私をイメージしながら、私にダメと言った〇〇ちゃんに大人の私が言い返し、謝ってもらい、やっと小さな小学校六年生の私が笑顔になったインチャ癒やしをイメージの中で行いました。涙がひたすら流れてきて、ひとたび心が落ち着くと、その三日後、とても不思議なことが起こりました。

私には保育園に通っている 5 歳の子どもがいます。子どもが通う保育園では遠足が多く、年長さんになると毎月のように山登りがあります。私の家族は今まで山登りに行ったことがありませんでした。初めての山登りで、未熟児で生まれた我が子の体の事が気になっていたこともあり、保育園の遠足で行く前に、一度夫と子どもと家族三人で山登りに行ってみようと思い、日曜日に初めて山登りに行きました。由井先生が相談会で処方して下さっているレメディィーのおかげで、子どもはどんどん山道を登っていき、夫と私の手を引っ張るくらい体力的に成長していて、とてもびっくりしました。これなら心配いらないやと安心して、次の日保育園に行って、担任の先生に話をしました。すると、隣で私の話を聞いていた同じクラスの子のお母さんが、私に声をかけてきたのです。「ねえねえ、昨日、山登りに行ったのっ？家も誘って欲しかったよ～！！一緒に誘ってくれば良かったのに～」と言われました。その瞬間、私は拍子抜けしてしまいました。「えっ！？声かけて良かったの?!」今までの私は、「どうせ私なんか仲間はずれだから」とか、「どうせ私はいつも受け入れてもらえないから」と思っていたからです。けれど、それが 180 度ひっくり返り、今まさに、目の前にいる子どもと同じクラスの男の子のお母さんから、声をかけてもらっている私がいきました。「ええ～っ」と、一瞬私の意識が止まりました。最初は、信じられませんでした。そんな言葉を私にかけてくれる人なんて、今までいなかったからです。私は、ものすごい嬉しくなって、「えっ！？私のこと、そんな風に思ってくれてたんだ。私のこと、受け入れてくれてたんだ！！」って思ったら、今まで感じたことのない喜びの感情が湧き出てきました。

このことがきっかけとなり、今少しずつ、自分に自信が持てるようになって、子どもの保育園のお母さんたちとも楽しく話をしたり、一緒にイベントに参加できるようになりました。

どうせ私なんて、、という自己卑下から始まり、プライドがものすごく高くなって、人の輪に入れないと自分で自分を殺していた私は、由井先生が開発して下さったサポート Douse

を撮らせていただいたことで、180度人生が覆りました。

人生の新しい道を開いて下さった由井先生に、心より感謝申し上げます。